



洗心

村山市立袖崎小学校
学校だより
No.9

令和6年8月28日発行

「安心を土台に、豊かな社会性を育む」

前期後半が始まりました。大きなけがや事故なく夏休みを過ごせたことは、保護者の皆様、地域の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

今回は、私たちが目指している「安心を土台にした社会性の育成」について、ご紹介したいと思います。

私たちが教育の場で最も大切にしていることは、子どもたちが「安心できる環境」で学び、成長できるようにすることです。安心感は、子どもたちの自信を育み、自分自身や他者を尊重する心の土台となります。第7号で紹介した「支え合いながら学ぶ環境づくり」はもちろん、教職員一同、児童一人ひとりと丁寧に向き合い、信頼関係を築くことを大切にしています。また、学校内では、授業や生活指導において、安心して自分を表現できる雰囲気づくりに努めています。



そうした、安心感を土台として、学校で育つ重要な力の一つは「社会性」です。ことさら、教育目標に掲げることはありませんが、学校は、家庭とは違い、「思いどおりにならない場所」であるからこそ、必然的に社会性が育まれます。子どもたちは、学校という集団生活の中で、無数の「思い通りにならないこと」と出会い、その中で自分の不快感を収め、周囲との調和を経験することで、社会性を身につけます。自由の相互尊重と社会のルールに従うことを求められる中で、自分の欲求を抑え、折り合いをつけることを学びます。



さらに、私たちは学校と地域社会が連携し、子どもたちに多様な社会経験を提供することが、社会性の育成において重要であると考えています。地域の方々との交流を通じて、子どもたちは日常生活や学校の枠を超えた視点で、人とのかかわり方や協力することの意義を学んでいます。例えば、地域イベントへの参加や、生活科・総合的な学習を通じた地域交流など、学校外での様々な経験が、子どもたちの人間関係の幅を広げています。



また、学校内では、異学年交流を積極的に取り入れることで、協調性や思いやりの心を育む取り組みを行っています。これにより、子どもたちは相手の立場に立って考え、行動する力を身につけていきます。



私たちの目標は、今年度のテーマ「自分(たち)で決め、行動する」にもあるように、子どもたちが心身ともに健やかに成長し、主体的に自身の人生と社会を創造する人に育つことです。そのためには、安心できる環境づくりと、豊かな社会性を養うことが欠かせません。今後も、保護者の皆様、地域の皆様と連携を深めながら、子どもたちの健全な成長を支えてまいります。どうか、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。